

議長総括

タネル・ユルドゥズ・エネルギー天然資源大臣, トルコ [仮訳]

2013年IEA閣僚理事会

2013年11月19—20日

1. IEA加盟国の閣僚は、トルコのタネル・ユルドゥズ・エネルギー天然資源大臣の議長の下でIEA設立40周年の始まりを飾る形で2013年11月19—20日にパリで開催された「将来のエネルギーのためのグローバルシナジー」をテーマとする閣僚理事会のために参集した。
2. 今年のIEA閣僚理事会は、28の加盟国の参加のもと開催された。ブラジル、チリ、インド、インドネシア、メキシコ、中国、ロシア、南アフリカもまた出席した。国際的なエネルギービジネス企業の幹部32名も閣僚理事会の成功に貢献した。
3. 閣僚は、エストニアにIEA条約（注：IEP協定）に加盟することを求め、理事会メンバーとしてのエストニアの参加を歓迎した。エストニアは、ベルギー政府に対して加入書の寄託を行った後に、29番目のIEA加盟国になる予定である。
4. IEA設立40周年に際し、閣僚の議論は、世界のエネルギー市場に直接的な影響を及ぼす、変遷するエネルギー風景や地政学によって提起された課題に対応するために必要な政策戦略を中心に行われた。IEA加盟国の閣僚はパートナー国代表と共に、世界のエネルギー需要の増加、新たな生産エリア、エネルギー地図における供給と需給の中心地の移動、エネルギー安全保障及び多様化、エネルギー効率への焦点、及び特に、世界的な景気回復を受けた需要増がみられる中でのエネルギーと持続可能な開発と包摂的な成長との間の連関について議論した。
5. エネルギー安全保障がIEAのマンドートの基盤であると認識しつつ、閣僚は、確実に且つ受容可能な価格で効率的なエネルギー供給を促進する必要性について合意した。さらに、閣僚は、各国の政策や状況に合致する、天然資源の安全且つ持続可能な開発、新たな輸送路、再生可能エネルギー、及び原子力を含む低炭素技術による供給の多様化を歓迎した。閣僚は、エネルギー効率及びエネルギー多様化がエネルギー安全保障を高める際に果たす役割を認識した。
6. 40周年の節目において、IEAの使命、役割及び活動が、IEA加盟国及び非加盟国の双方にとって、（設立当時の）1974年と同様に、世界的な課題に対処するための国際協力や国際的な解決にとって引き続き関連性を有し、且つ重要であることが再

確認された。IEAの財政的な持続可能性の問題が提起され、閣僚は、理事会及びIEA事務局が2014年の6月までに、IEAの長期的な財政的及び機構上の持続可能性、世界の変わり行くエネルギーの力学を考慮しながら、IEAがエネルギー政策の分析における中心的な役割を続けるための課題・世界のエネルギー安全保障を促進するために必要な機構上及び資源の要件を評価することを求めた。閣僚はまた、IEAが緊急時準備・対応メカニズム及びIEP協定に基づく行動手段（注：石油備蓄の放出等）を通じて、エネルギー安全保障における重要な役割を有していることを再確認した。更に閣僚は、石油備蓄に関するIEAの法的義務を遵守する必要性を強調した。

7. 閣僚は相互の利益と関心に基づいて、他の主要なパートナー国、その他の国々や地域と政策対話を深化させる意図を表明した。閣僚は、世界のエネルギー安全保障、経済競争力及び持続可能性に関する継続的且つ結果指向型の対話を行うために主要パートナー国、主要新興国及び地域とのイニシアティブを強化することを求めた。閣僚はIEAと各パートナー国間の個別の共同声明及び共同作業計画の更新によってこの協力が強化されることを歓迎した。また、閣僚は2013年閣僚理事会において、IEAとブラジル、中国、インド、インドネシア、ロシア、南アフリカによるアソシエーションを追求することについて相互の関心を表明する共同宣言を歓迎した。
8. 国際エネルギー・フォーラム（IEF）、石油輸出国機構（OPEC）、国際再生可能エネルギー機関（IRENA）、国際連合（UN）、G20等を含む、他の国際的及び地域的機関やプロセスとの協力及び対話が必要であると強調された。
9. IEA加盟国の閣僚は、よりクリーンなエネルギー経済への移行を促しうる政策や技術を促進する必要性だけでなく、エネルギーと気候変動の関係をも強調した気候変動に関するステートメントを史上初めて発表した。閣僚は、世界経済の成長、及び気候変動や地域汚染を軽減しつつ、エネルギーの多様性や安全保障のための具体的な機会を提供する低炭素技術と再生可能エネルギー技術の展開の急速な進展を認識した。また、エネルギー貧困や人間開発の側面が強調され、地球温暖化に立ち向かうだけでなく、高いエネルギー価格や鈍化した経済成長を背景にエネルギー効率を向上するための努力を継続させていくことも強調された。閣僚は、受容可能な価格の近代的なエネルギーサービスへのアクセスを増大させる努力への支援を表明した。
10. 閣僚は、今後予想される世界経済の回復や世界的なエネルギー需要の増加を特に踏まえ、とりわけ低炭素技術、近代的なプラントや配電網の不足を克服するために、持続的で賢明な投資が必要となることに注意を払った。閣僚は、エネルギー市場の構

造と独立した規制は、投資を促進し、生産者と消費者に対して正確な価格シグナルを発出させるためには効率的且つ機能的で、また透明性を有する市場に基づいた解決法を追求すべきであることを表明した。閣僚は、(閣僚理事会への)民間部門の参加が有益であったとし、また、エネルギー分野における官民のパートナーシップの役割を強調した。また、I E Aのエネルギービジネスカウンシルの参加は議論の質を高めた。

- 1 1. 閣僚は、I E Aにおける多国間の技術協カイニシアティブを含む、クリーンエネルギー技術に関する研究、開発及び普及を強化するための努力を促進することに合意した。閣僚は、技術開発や技術の実証の継続的な役割を、将来に向けて、新しく、より効率的でコスト競争力のある技術を生み出すために不可欠なものとして認識した。閣僚は、イノベーションの重要性に留意し、国民の懸念を晴らすために責任ある持続可能な方法で新しい技術あるいは技能の展開が行われることを確実なものとするような努力を支持した。参加者は「世界エネルギー展望 (W E O)」の中におけるエネルギーと競争力に関わる分析を大いに歓迎し、事務局が当該分野において作業を継続することを求めた。
- 1 2. 閣僚は、I E Aの旗艦出版物であり、本会合に先立って最近出版された「世界エネルギー展望 2 0 1 3」(「W E O - 2 0 1 3」)の主要なメッセージやI E Aの他の分析について説明を受け、エネルギーに関する課題の規模や広がりが途方もなく大きい可能性が確認された。閣僚は、より確実で、よりクリーンな持続可能なエネルギーの将来のために、また人間開発及び貧困を解消するために特にグローバルなレベルにおけるより綿密な協力、対話及び協調行動の必要性を強調した。加盟国、加盟申請国及びパートナー国のエネルギー閣僚は、現在の世界の力学及び情勢を考えると、より透明性が高く効率的で効果的なエネルギー政策が、持続可能な発展及び包摂的な成長にとって不可欠であるとするメッセージを発出した。